EHIME BANK DISCLOSURE

愛媛銀行の現況

平成21年9月期版/ディスクロージャー誌





皆様には、平素より私ども愛媛銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠に ありがとうございます。

当行はこの度、平成21年度中間期(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)における業況、活動状況につきまして、ディスクロージャー誌「愛媛銀行の現況」を発刊いたしました。本誌を通じて当行の現況をより一層ご理解いただければ幸いに存じます。

当行は、「地域No.1の金融サービスの提供」を経営指針とする第13次中期経営計画を平成21年10月よりスタートさせました。「お客様を第一に、行員を大事にすることが繁盛のもとである」という創業者精神に基づいた営業に徹することで、「お客様に最初に相談される銀行」の実現に向けさらに精進していく所存でございます。

今後とも皆様方のより一層のご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年1月

頭取中心 統治部

もくじ

ごあいさつ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
プロフィール / 経営理念 / 第13次中期経営計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
営業の概況〈平成21年度中間決算の概況 (単体) 〉	
・金融経済環境 / 収益の状況 (単体) / 貸出金・預金等・預り資産の残高(単体)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
・白己資末比索(単体) / 全融再生法に其づく問示信権の確享と比索(単体)・核付け / 全融再生法問示信権の保全状況(単体)・・・・	1

1

プロフィール (平成21年9月30日現在)

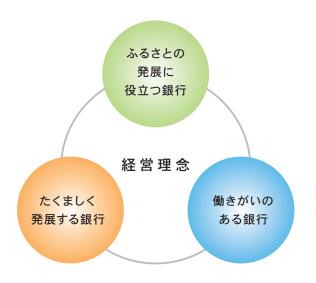
経営理念

- ●名 称 株式会社 愛媛銀行
- ●所在地 愛媛県松山市勝山町2丁目1番地
- ●設 立 昭和18年3月20日
- ●資本金 190億78百万円
- ●預金等 1兆5,832億円
- ●貸出金 1兆2.983億円
- ●店舗数 101店舗(本支店95、出張所6)
- ●行員数 1,521名



愛媛銀行の行章 (昭和27年10月制定)

地元に愛され、親しまれることを基本理念として、 片仮名でエヒメを図案化したものです。エを円形 にデザインし、お客様と銀行が固く結ばれ、お客 様とともに、永遠の繁栄を表現したものです。



第13次中期経営計画 (平成21年10月~平成24年3月)

『地域No.1の金融サービスの提供』を経営指針として揚げ、行員一人ひとりが「できない」ではなく「どうすればできるか」を常に考えて行動し、マーケティング戦略に基づいた施策を確実に実行することで、《最初に相談される銀行》という愛媛銀行ブランドの確立を目指してまいります。

基本方針

●お客様ロイヤルティの追求

愛媛銀行に相談してよかった、愛媛銀行と取引してよかった、また愛媛銀行に行こう、友達に愛媛銀行を勧めよう、とお客様に思っていただけるように努めてまいります。

2ジョブロイヤルティの追求

お客様へのサービスを向上させようとする行員を適正に評価し、私たち一人ひとりが満足して働ける職場環境を整えることにより、真に働きがいのある愛媛銀行を目指してまいります。

❸コーポレートガバナンスの強化

愛媛銀行は社会からの信用があって初めて存在していることを再認識するなかで、コンプライアンスの徹底を図り、社会の一員として規律ある経営、効率的な経営に徹してまいります。

要

愛媛銀行ブランドの確立 ~ 最 初 に 相 談 さ れ る 銀 行 ~

第13次中期経営計画

地域No.1の 金融サービスの提供



お客様ロイヤルティの追求

ジョブロイヤルティの追求

コーポレートガバナンスの強化

金融経済環境

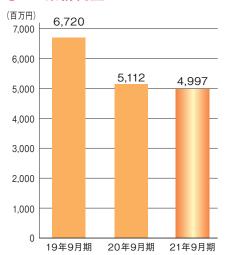
当中間期のわが国経済は、昨年来の世界的な金融危機の影響が最悪期を脱し、景気は持ち直しつつあるものの、個人消費の低迷、雇用・所得環境の悪化が続いており、先行きに対する不安感は払拭できない状況にあります。

愛媛県内の経済におきましても、業種間や地域間のばらつきはあるものの、まだまだ厳しい環境が続くと予想されます。 こうした状況のもと、当行は「地域No.1の金融サービスの提供」を通じて「最初に相談される銀行」を実現するために様々な 取り組みを行い、業績の向上に努めてまいりました結果、当中間期において次の業績をあげることができました。

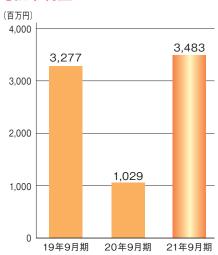
収益の状況(単体)

企業を取り巻く経営環境の低迷は続いていますが、効率的な資金運用に努めました結果、以下の業績となりました。

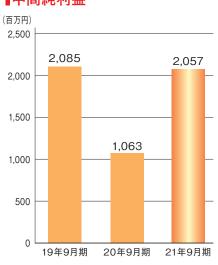
■コア業務純益



経常利益



中間純利益



用語のご説明

●コア業務純益

銀行本来業務による利益を表したもので、「業務 純益」から一般貸倒引当金繰入額と国債等債券 損益を除いたものです。

●経常利益

「業務純益」に株式売却損益や不良債権処理に かかわる費用等を加減算した利益のことです。

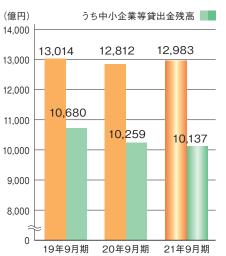
●中間純利益

「経常利益」から税金などを差し引いた最終利益 のことです。

貸出金・預金等・預り資産の残高(単体)

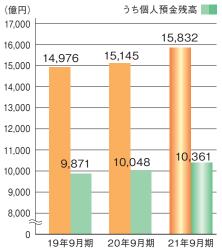
■貸出金の残高

貸出金は住宅ローンを中心に推進した 結果、前年同期比+171億円(+1.3%)と なりました。



■預金等の残高

預金等は法人預金が順調に推移したほか、個人預金の増強を図った結果、前年同期比+687億円(+4.5%)となりました。



■預り資産の残高

商品内容の充実に努めましたが、株式 市況低迷の影響もあり、前年同期比 △7億円(△0.5%)となりました。



自己資本比率(単体)

■自己資本比率(単体)

平成21年9月末の自己資本比率は9.29%(前年同期比 △0.04ポイント)となり、国内のみに支店を持つ銀行の 水準である国内基準(4%以上)を大きく上回り、高い 健全性を維持しています。

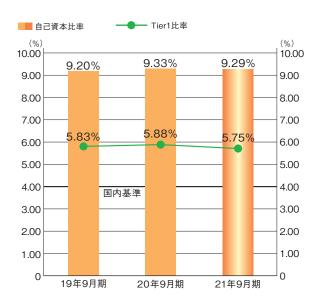
用語のご説明

●自己資本比率

信用リスクの程度に応じてウエイトづけした資産 (リスクアセット) に対する自己資本の割合です。この比率が高いほど不良債権等に対する備えが充実していることを示しています。

●Tier1比率

劣後ローンなどの補完的項目を算入せずに、資本金、法定準備金、剰余 金等の基本的項目で算出した自己資本比率で銀行の本質的な健全性を 示す指標です。



金融再生法に基づく開示債権の残高と比率(単体)・格付け

■金融再生法に基づく開示債権の残高と比率(単体)

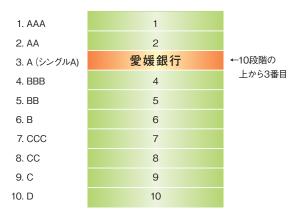
平成21年9月末の金融再生法に基づく開示債権残高は 48億円減少し、開示債権比率は3.83%(前年同期比 △0.42ポイント)となりました。

格付け

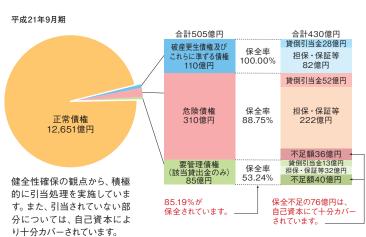
当行は、日本格付研究所(JCR)から長期優先債務について [A-]の格付を取得しています。

「A」の定義は、「債務履行の確実性が高い」です。





金融再生法開示債権の保全状況(単体)



- (注) 債権額は億円未満を四捨五入しています。
- (注) 要管理債権の引当は、要管理先に対する 一般貸倒引当金。

用語のご説明

●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産などの事由により経営破綻に陥っている先に対する債権や これに準ずる債権。

●危険債権

経営破綻状態には至っていないものの、経営状態が悪化し、 約定どおりの返済ができない可能性の高い債権。

●要管理債権

3ヶ月以上延滞債権と貸出条件緩和債権で、「破産更生債権 及びこれらに準ずる債権」「危険債権」に該当しないもの。

●正常債権

経営状態に特に問題がないものとして、「破産更生債権及び これらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」に該当しないもの。

感性価値はじめました!

愛媛銀行は、様々な人融(人の融通)による「つながり力」で事業者の感性価値向上を強力にサポートします。

経済産業省受託事業展開中







愛媛銀行は、当業界のトップを切って「地域力連携拠点」として選定されました。

詳しくは、愛媛銀行 感性価値創造推進室へ。

● 089-933-1111 月~金(祝日除く) 9:00~17:00

http://www.himegin.co.jp/create/